

決算審査特別委員会要望事項（案）

- 1 繰越額及び不用額の縮減について
予算の効率的・計画的な執行に努め、翌年度への繰越額及び不用額の縮減を図るべきである。
(全部局)
- 2 清掃等庁舎管理業務に係る低価格の入札防止及び適正な履行の確保について
清掃等庁舎管理業務に係る入札状況を把握し、低価格の入札防止及び適正な履行確保の対策を検討すべきである。
(総務部)
- 3 成田空港周辺におけるインフラ整備について
国際線の基幹空港である成田空港を強化するため、周辺における道路、鉄道などの必要なインフラ整備について、国において積極的に取り組むよう、県として強く要望すべきである。
(総合企画部)
- 4 保育所の待機児童解消について
保育所の創設・増築などにより一層の定員増を図るとともに、既存の施設の有効利用なども含め、希望する子どものすべてが保育所に入れるよう努力すべきである。
(健康福祉部)
- 5 衛生研究所の建替えについて
衛生研究所の建替えに当たっては、関係者等と十分調整のうえ進めるべきである。
(健康福祉部)
- 6 羽田空港再拡張に伴う航空機騒音実態調査について
羽田空港の航空機騒音については、これまでも常時監視を行っているが、D滑走路の供用開始に伴い、本県の飛行ルート下の騒音影響が懸念されることから、さらなる計画的な騒音調査を実施すべきである。
(環境生活部)
- 7 経済対策の推進について
経済対策を推進するにあたっては、産学官の十分な連携の下、効果的かつ、きめ細かな対策を進めるべきである。
(商工労働部)
- 8 かずさアカデミアパーク構想の見直しについて
かずさアカデミアパーク構想については、社会経済情勢の変化を踏まえ、見直しを図るべきである。
(商工労働部)
- 9 担い手確保対策の強化について
千葉県農業の持続的な発展を図るため、担い手確保対策について一層の充実を図るべきである。
(農林水産部)

10 繰越額の縮減について

県土整備部の翌年度繰越額は、多額にのぼっていることから、事業の進行管理を一層徹底することにより、繰越額の縮減を図るべきである。

(県土整備部)

11 教員採用選考について

教員の大量退職・大量採用時代を迎え、教員採用選考にあたっては、教育職に対する強い情熱と豊かな人間性を持つ、魅力ある人材の確保に努めるべきである。

(教育庁)

12 委託契約における随意契約の見直しについて

委託契約については、安易に随意契約とせず、また、一般競争入札についても一定の参加者数を確保するなど、競争性の確保に努めるべきである。

(警察本部)

13 水道施設の更新について

水道施設の更新にあたっては、老朽化した配水管を含め、計画的に取り組むべきである。

(水道局)

14 土地造成整備事業の収入確保について

土地造成整備事業の収束にあたっては、一般会計からの財源投入がないよう収入の確保に努力すべきである。

(企業庁)

15 ジェネリック医薬品の推進について

患者負担の縮減や医療費抑制の観点から、ジェネリック薬品の使用について、より積極的に取り組むべきである。

(病院局)